

株式会社 Sassor
代表取締役 石橋 秀一

VPP システム「ENES」を提供する Sassor、 エネルギー資源制御による収益性最大化に向けてレジルと資本業務提携

株式会社 Sassor（本社：東京都目黒区、代表取締役：石橋 秀一、以下当社）は、レジル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 丹治 保積、以下 レジル）を引き受け先とする第三者割当増資を実施いたしました。

【背景】

レジルが参画する2023年度の「分散型エネルギー資源の更なる活用実証事業※1」において、当社のRAシステムを採用しています。

また、2022年度の実証事業で同じコンソーシアムに参画したことを契機に、レジルが一括受電マンション等に導入する蓄電池の最適制御に関する協業可能性について検討を開始し、2023年3月からは、当社のシステムの専門性と電力制度に関する知見を活かし、経済DRや複合制御に関する実装を行ったRAシステムの提供を進めています。

本件出資を通じて、エネルギー資源制御による収益最大化に向けて、さらなる協業を加速させてまいります。

※1 令和5年度分散型エネルギー資源のさらなる活用実証事業採択のレジル社プレスリリース
https://rezil.co.jp/press_release/406/

【今後の予定】

レジルは、2030年までに3,000台を目指して一括受電マンションやオフィスビル等への蓄電池導入を進めており、これらの蓄電池をネットワーク化してVPPプラットフォームを構築する計画です。当社と協業で開発中のRAシステムで最適制御を行い、卸電力市場や需給調整市場等を通じて電力取引を実施し、収益性の向上や需要家の電気料金削減を図ります。

■レジル株式会社について

国内で初めて事業化した「マンション一括受電サービス」の基盤とノウハウを活かして分散型エネルギー事業・エネルギーDX事業・グリーンエネルギー事業を展開する気候テックカンパニーです。「脱炭素を、難間にしない」のビジョンのもと、3つの事業を柱とした分散型エネルギーエコシステムを構築し、地球沸騰時代の社会に貢献します。

ビジネスモデル変革や AI を活用したシステム開発などの経営体制刷新に伴い、第二の創業の始まりとして 2023 年 9 月 1 日より、社名を中央電力からレジルへ変更しました。

一括受電マンションやオフィスビルの BCP 対策強化および脱炭素への貢献のため、2023 年 4 月に「マンション防災サービス※2」を、2023 年 6 月に「蓄電池活用によるビルの BCP 対策強化プロジェクト※3」の提供を開始し、マンション・オフィスビル等への蓄電池導入を推進しています。

※2 マンション防災サービス概要サイト：<https://denryoku.co.jp/bousai/>

※3 蓄電池活用によるビルの BCP 対策強化プロジェクト始動プレスリリース：https://rezi.co.jp/press_release/405/

■株式会社 Sassor について

エネルギーとの新たな関係をデザインすることを目標に、IoT、AI の技術を用いて蓄電池制御最適化 AI 「ENES」の開発と提供を行っています。

独自の技術(複数の市場を想定し需要家の経済効果を最大化する蓄電池制御機能、消費/発電予測機能など)を強みとして、様々なリソースを大規模にアグリゲートして VPP ビジネスの展開を行います。

将来的には、様々なエネルギー源を統合し、最適に制御することで、持続可能な社会を支える、未来のエネルギーインフラを目指します。

【Sassor 会社概要】

会社名	： 株式会社 Sassor (サッソー)
代表取締役	： 石橋 秀一 (いしばし しゅういち)
設立	： 2010 年 9 月 30 日
所在地	： 東京都目黒区上目黒 2 丁目 10-4
URL	： https://www.sassor.com
事業内容	： IoT/AI サービスの開発・提供

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 Sassor (サッソー)

担当：矢嶋

お問合せ先 (E-mail) : sales@sassor.com